

## 4. 研究計画調書記入例

ここでは「基盤研究（C）（一般）」を事例として取り上げます。他の種目に応募する場合は、参考としてご覧ください。

### ！！ 注意 ！！

今回の公募では、罫線の削除、記入項目の変更（研究目的と研究方法欄の統合、本研究の着想に至った経緯が欄として独立、最終年度前年度応募に関する記入欄の追加、研究成果発信方法の欄及びこれまでに受けた研究費と成果等に関する欄の削除等）、「系・分野・分科・細目表」から「審査区分表」へ変更が行われています。

特に、審査区分はどの分野で審査されるかの根拠となりますので、全く違う分野で審査がされることがないように、充分確認を行ってください。

応募内容ファイルは、必ず平成30年度の様式をダウンロードして作成してください。

| 機関番号  | 研究種目番号 | 応募区分番号 | 小区分   | 整理番号 |
|-------|--------|--------|-------|------|
| 00000 | 00     | 0      | 00000 | 0000 |

平成30年度 (2018年度) 基盤研究 (C) (一般) 研究計画調書

平成 XX 年 XX 月 XX 日

1版

新規

科研費電子申請システムで確定を押すと初回は1版、修正するたびに版数が変わります。システム上の版数と同じものを事務へ提出してください。

|                         |   |   |                          |  |
|-------------------------|---|---|--------------------------|--|
| 研究種目                    | 基盤研究 (C)  | 応募区分  | 一般                       |  |
| 小区分                     | 「審査区分表」(公募要領 3 7 ~ 6 6 頁参照) から、審査を希望する区分の区分番号を入力してください。   |   |                          |  |
| 研究代表者<br>氏名             | (フリガナ)  | 自動表示されている部局名が実際の名称と異なる場合は、手入力で修正してください。                                       |                          |  |
| 所属研究機関                  | (漢)   | 具体例 1) 部局名が「学内共同教育研究施設」と出る場合<br>各研究所、各機構、地域社会研究科等                             |                          |  |
| 部局                      |   | 具体例 2) 「その他」や「研究員」と表示されている場合など<br>研究機関研究員、特任准教授・講師・助教・助手、客員研究員 等              |                          |  |
| 職                       |   |   |                          |  |
| 研究課題名                   | 「研究課題名」欄には、研究期間終了時までの研究内容を具体的に表すような研究課題名(一般的、抽象的な表現は避けてください。)を40字以内で入力してください。濁点、半濁点はそれだけで独立して1字とはなりませんが、アルファベット、数字、記号等はすべて1字として数えられ、表示されることに留意し、化学式、数式の使用は極力避けてください。(表示例Ca <sup>2+</sup> Ca <sub>2</sub> <sup>+</sup> ) |   |                          |  |
| 研究経費<br>(千円未満の端数は切り捨てる) | 年度  | 研究経費<br>(千円)  | 使用内訳 (千円)                |  |
|                         |   |   | 設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他 |  |
|                         | 平成30年度  | 「研究経費」欄は、金額は千円単位の標記になります。<br>応募する年度において該当のない費目、応募しない年度の全ての費目については、「0」と表示されます。 |                          |  |
|                         | 平成31年度  | 「研究経費とその必要性」の項目で記載した後、「再計算」ボタンを押すと自動で反映されます。                                  |                          |  |
|                         | 平成32年度  | 減額されて採択されることを頭に置きつつ、必要な経費を計上してください。   |                          |  |
|                         | 平成33年度  |   |                          |  |
| 平成34年度                  |   |   |                          |  |
|                         | 総計  |   |                          |  |
| 開示希望の有無                 | 審査結果の開示を希望する  | 開示を希望してください。後日、「開示を希望したい」との申し出があっても変更はできません。                                  |                          |  |
| 研究計画最終年度前年度応募           | --  | 該当する場合は、応募ありの表示が出ます。  |                          |  |

| 氏名（年齢）  | 所属研究機関<br>部局<br>職   | 学位<br>役割分担 | 平成30年度<br>研究経費<br>（千円） | エフオ<br>ート<br>（%） |
|---|---|------------|------------------------|------------------|
| 00000000 (00)   | (00000)   |            |                        |                  |
| <p>「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領33～35頁を参照してください。</p> |   |            |                        |                  |
| 000   | <p>(1) 研究組織の入力欄は、入力画面左側の「追加」ボタンを人数分押すことでデータ入力欄が表示されます。使用しないデータ入力欄は、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除してください。<br/> <b>「研究 組織人数」欄の数字と実際に入力した データの合計人数が合わない場合は、入力後の確認画面において エラーが表示されますのでご注意ください。</b><br/> <b>「基盤研究（B）特設分野研究」、「基盤研究（C）」及び「挑戦的研究」において、2年度目以降に参画することを予定している研究分担者がいる場合には、「平成30年度研究経費」、「エフオート」欄には「0」を入力してください。</b></p>   |            |                        |                  |
| 000   | <p>(2) 「区分」欄には、「研究分担者」、「連携研究者」のうち該当する区分を選択してください。<br/>                 (3) 「研究協力者」は研究組織表には入力せず、研究計画調書作成・記入要領の指示に従い、作成する研究計画調書の「研究目的・研究方法など」欄等、全体研究計画を説明する中で記載してください。<br/>                 (4) 研究者情報（「研究者番号」、「氏名（カナ・漢字）」、「年齢（平成30年4月1日現在）」、「所属研究機関・部局・職」、「学位」）は、当該研究者に対応する正確な情報を、各研究者本人及び研究者の所属研究機関事務局に確認のうえ、入力あるいは選択してください。研究代表者に係る情報のうち は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報であるため自動表示されますので、当該研究代表者の情報が正確に登録されていることを確認してください。<br/>                 (5) 「部局」欄について、自動表示されている部局名が<b>実際に所属する部局名と異なる場合は、手入力</b>で修正してください。<br/>                 (6) 「職」欄について、自動表示されている職名が<b>実際の職名と異なる場合は、手入力</b>で修正してください。<br/>                 (7) 「役割分担」欄には、平成30年度の研究実施計画に対する分担事項を中心に、研究代表者、研究分担者及び連携研究者がどのように協力して研究を行うのか、<b>それぞれの関連がわかるように記入</b>してください。<br/>                 記載例 （一人で実施する場合） 研究代表者：研究の総括及び実施<br/>                 （複数名で実施する場合） 研究代表者：研究の総括、A地区とB地区の実地調査<br/>                 研究分担者：C地区の実地調査<br/>                 (8) 「平成30年度研究経費」欄は、研究計画に基づき、研究代表者及び研究分担者への配分額を千円単位で入力してください（連携研究者には分担金を配分することができませんので入力不要です）。<b>各研究者への配分額の合計金額が「研究経費」の「平成30年度の応募研究経費の合計金額」と一致するようにしてください。</b>一致しない場合は、入力後の確認画面においてエラーが表示されます。<br/>                 (9) 「エフオート」欄は、研究代表者及び研究分担者について、本応募研究課題が採択される場合を想定した時間の配分率（1～100の整数）を入力してください。<br/>                 時間の配分率の決定にあたっては、「研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要な時間の配分率（%）」という考え方で決定してください。<br/>                 なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。</p> |            |                        |                  |
| 合計  | 00 名  | 自動集計       | 研究経費合計                 |                  |

## 基盤研究（C）（一般）1

## 1 研究目的、研究方法など

頁数の指定は様式の説明欄を確認してください。  
種目により、異なります。

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領111頁参照）を参考にしてください。

本欄には、**本研究の目的と方法など**について、**3頁以内**で記述してください。**新しい項目です。記載漏れに注意してください。**

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、**研究課題の核心をなす学術的「問い」、**(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述してください。

本研究を研究分担者**ととも**に行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述してください。

(概要) **※10行程度**で記述してください。

この部分に概要を簡潔にまとめて記載してください。  
現状の問題提起、申請者らの研究成果、（をもちに を解決するための）研究目的、  
具体的な研究計画の4つの要素を盛り込んでください。

## (本文)

(1) 次の ～ の項目を盛り込んで記載してください。

**研究の学術的背景**（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）

研究期間内に**何をどこまで明らかにしようとするのか**

当該分野における**本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義**

「研究課題の確信をなす学術的「問い」」については、「**学術的に解決したいことは何か**」を記載してください。

具体的な研究計画（分担者がいる場合は、役割分担についても述べてください）

今回の調書から「年度ごとに分けて記載すること」という文言が無くなっており、

研究内容に応じて、適宜書きぶりを工夫してください。

**審査委員が「この研究計画調書に記載の研究をどのように研究を進めて行くのか」をイメージできるように作成してください。**

（従来どおり、年度ごとに分けて記載するのの一つです。）

研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の役割についても記述してください。

研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況についても述べておくと、より練られた計画であり、研究成果を上げられる可能性が高いことをアピールすることができます。

研究期間の途中で研究環境が大きく変わる場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

(2) **11ポイント以上**の文字等を使用してください。

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

前ページに引き続き、指示に従って記入してください。

共通の注意事項

- ▶ 様式の余白は、**上20mm、下20mm、左25mm、右25mm** で設定してあります。余白の設定を変更すると、審査資料を作成する際、文字等の欠落等の恐れがありますので、**設定を変更しないでください。**
- ▶ **指定以上の頁の追加**など、**様式の改変は認められません。**
- ▶ 研究計画調書は、**全ての研究種目でモノクロ印刷したものが各審査委員に送付される**ため、印刷した際、内容が不鮮明とならないよう、作成に当たっては留意してください。

**【参考：“審査”の評定要素をふまえた調書を作成し、採択される好評価の研究計画調書を目指しましょう！！】**

基盤研究（A・B・C）及び若手研究の評定要素

- （1）研究課題の学術的重要性・妥当性
  - ・学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか。
  - ・研究課題の核心をなす学術的「問い」は明確であり、学術的独自性や創造性が認められるか。
  - ・研究計画の着想に至る経緯や、関連する国内外の研究動向と研究の位置づけは明確であるか。
- （2）研究目的、研究方法の妥当性
  - ・研究目的が明確であり、その研究目的を達成するため、研究方法等は具体的かつ適切であるか。また、研究経費は研究計画と整合性がとれたものとなっているか。
- （3）研究遂行能力及び研究環境の適切性
  - ・これまでの研究活動等から見て、研究計画に対する十分な遂行能力を有しているか。
  - ・研究計画の遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等、研究環境は整っているか。
- （4）研究課題の波及効果
  - ・本研究課題によって成果があがった場合、より広い学術、科学技術あるいは社会などへの波及効果が期待できるか。

平成29年9月6日開催 文部科学省・日本学術振興会開催 科研費説明会  
資料2「平成30年度科学研究費助成事業-科研費-公募内容の変更点」より

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

前ページに引き続き、指示に従って記入してください。

## 2 本研究の着想に至った経緯など

本欄には、(1)本研究の着想に至った経緯、(2)関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、(3)これまでの研究活動、(4)準備状況と実行可能性、について1頁以内で記述してください。

「(3)これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めても構いません。

- (1) 昨年度まで研究目的を記載する箇所の要素の一つでしたが、項目として別途設けられました。
- (2) 審査委員が研究計画についてより理解を深めるため、当該研究の特色を記述する欄となっております。
- (3) 「これまでの研究活動」では、以下のような事項も記述可能ですので、該当する事例がある場合は積極的に記載ください。  
産前産後の休暇及び育児休業の取得や、介護休業の取得による中断など、研究を中断していた期間の説明。  
成果に繋がった例や、成果に繋がらなかったものの新しい問題を発掘できた場合など。

### 3 研究代表者および研究分担者の研究業績

本欄には、研究代表者、研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち重要なものを選定し、現在もしくは過去から発表年次の順に、通し番号を付して2頁以内で記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

学術誌論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)を記入してください。以上の項目が記入されていれば、各項目の順序の入れ替えや、著者名が多数の場合、主な著者名のみ記入しその他の著者を省略することは問題ありません。なお、省略する場合は、省略した員数と、研究代表者、研究分担者が記載されている順番を○番目と記入してください。

研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線を付してください。

1. 「桜に対する日本人の憧憬とその考察」 北海花子、弘前太郎(他3名、2番目) さくら研究学会誌 32巻 査読有 41-60 (2017)
2. “A Japanese heart for a cherry tree” Hideo Sakuma, Yu Hamada, Hanako Aomori(他4名、3番目) SakuraCom 31 21-40 査読無 (2017)
3. 「ソメイヨシノの誕生」弘前太郎、黒石三郎(他3名) さくら研究学会誌 31巻 査読有 21-30 (2016)

- (1) 従前の様式では、過去5年の業績を中心に応募課題に関連するものについて記載を求められていましたが、**応募課題に関連するものに限らず、また発表年に関わらず、応募者にとって重要と考える業績を記入できるように変更されています。**  
5年以上前でも、本研究との関連がなくても記載可能です。  
指定されたページの範囲内で、**研究遂行能力をアピールするのに適切なものを記載してください。**
- (2) 従前の様式では、必要に応じて記入できるとしていた**連携研究者の業績については記入しないでください。**
- (3) **現在から又は過去からの順に通し番号を付して記入してください。**  
昨年度までは「現在から」と指定がありましたが、**今回の公募より順に記載していれば「過去から」の順でも記載可能となりました。**  
論文、著書、産業財産権、招待講演は**項目ごとではなく、全て一連の順にしてください。**  
**年度で線を入れる必要がなくなりましたが、見やすくするため、適宜見出しを付けても構いません。**
- (4) 発表論文の場合、**論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)**について記入してください。以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略(省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入)しても可。  
学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、**掲載が決定しているものに限ります。**  
**電子ジャーナル等で頁数の表示がない場合には、「最初と最後の頁」の記入は不要です。**  
**研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線を付してください。**  
(若手研究の場合は、代表者に下線とだけ指定されているため、**若手研究に申請する場合は研究代表者に一重下線で構いません。**)
- (5) 産業財産権等の知的財産権を有する場合は、その旨記入してください(特許出願番号等)

【3 研究代表者および研究分担者の研究業績（つづき）】

前ページに引き続き、指示に従って記入してください。

#### 4 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領4頁参照）

本欄には、本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1頁以内で記述してください。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。該当しない場合には、その旨記述してください。

研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります（指示書きのケースは例示列挙であることに注意してください）。

該当しない場合には、「本研究は \_\_\_\_\_ のため該当なし」と記述してください。

11ポイント以上の文字等を使用してください。

5 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項 **（該当者は必ず記述してください（公募要領24頁参照））**

本欄には、本研究の研究代表者が行っている、平成30年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を記述してください。

**該当しない場合は記述欄を削除することなく、空欄のまま提出してください。**

| 研究種目名                  | 課題番号 | 研究課題名 | 研究期間                 |
|------------------------|------|-------|----------------------|
| <b>記入間違いに注意してください。</b> |      |       | 平成 年<br>度～平成<br>30年度 |

当初研究計画及び研究成果 ※10行程度で記述してください。

「研究計画最終年度前年度の前年度」**の応募**として新規に応募する場合のみ記入してください。

**該当しない場合は、空欄のまま提出**してください。

11ポイント以上の文字等を使用してください。

研究代表者として行っている平成30年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述してください。

前年度応募する理由 **※10行程度**で記述してください。

当該研究の進展を踏まえ今回再構築して本研究を応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を記述してください。

研究経費とその必要性

| 年度  | 設備備品費の明細  |      |    |     |   | 消耗品費の明細    |     |
|---|---|------|----|-----|---|------------|-----|
|   | 品名・仕様   | 設置機関 | 数量 | 単価  | 金額  | 事項         | 金額  |
| 30  | 装置<br>(~~社製 型番00-00)<br>(内訳) ・ ×装置<br>・ 器<br>・ モニタ用PC | 弘前大学 | 1  | 600 | 600   | 試薬         | 500 |
|   |   |      |    |     |   | 実験用動物(マウス) | 300 |
|   |   |      |    |     |   | ガラス器具      | 100 |
| 30  | 計   |      |    |     | 600   | 計          | 900 |
| 31  | 関係図書  | 弘前大学 | 10 | 10  | 100   | 試薬         | 250 |
| 31  | 計   |      |    |     | 100   | 計          | 250 |
| 32  |   |      |    |     | 0   | 試薬         | 150 |
| 32  | 計   |      |    |     | 0   | 計          | 150 |
| 「設備備品」<br>多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関連図書」のように、ある程度図書・資料の内容が判明するような表現で記入してください。<br>スペースがあり、詳細な金額が分かる場合、図書を1冊ずつ記載しても構いません。<br>機械器具の場合は、単に 一式とするだけでなくその内訳も記入してください。  |   |      |    |     | 「消耗品費の明細」<br>薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入してください。 |            |     |
| (参考)<br>目安として、備品は10万円を超えるものを、消耗品費は10万円以下のものを計上してください。<br>ただし、コンピュータ(タブレット型を含む)、デジタルカメラ、ビデオカメラは少額備品になりますので、備品に計上してください。<br>また、10万円以上であっても、消耗品として扱うべきものもありますので、ご注意ください。<br>(例 20万円の実験用蛍光灯や30万円のPC用解析ソフトなどは消耗品となります。)<br>研究経費と使用内訳は、各経費の明細の入力内容から自動で計算されます。<br>各経費の明細欄は、入力画面左側の「追加」ボタンを必要数押すことでデータ入力欄が表示されます。<br>使用しないデータ入力欄(入力したが使用しない場合や全く入力しなかった場合)については、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除してください。<br>(エラーが出る場合は、不要なデータ入力欄を削除してください。)<br>金額は千円単位で入力し、千円未満の端数は切り捨ててください。<br>各経費の明細の入力がすべて完了したら、再計算ボタンをクリックしてください。 |   |      |    |     |   |            |     |
| ○計の欄は自動集計のため、入力不要です。<br>○具体的な記入例がないため、実際の調書とは若干異なる場合がありますのでご了承ください。   |   |      |    |     |   |            |     |

設備備品費、消耗品費の必要性

設備備品費、消耗品費の必要性  
 入力した設備備品費及び消耗品費の必要性・積算根拠について入力してください。  
 なお、本研究のいずれかの年度において、「設備備品費」が全体の研究経費の90%を超える場合及び「消耗品費」で特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の研究遂行上の必要性についても入力しなければなりません。

| 年度 | 国内旅費の明細                  |     | 外国旅費の明細             |     | 人件費・謝金の明細            |     | その他の明細     |     |
|----|--------------------------|-----|---------------------|-----|----------------------|-----|------------|-----|
|    | 事項                       | 金額  | 事項                  | 金額  | 事項                   | 金額  | 事項         | 金額  |
| 30 | 資料収集 東京都<br>2泊3日×3回      | 180 | 現地調査<br>マレーシア3日間×1回 | 250 | 資料整理<br>(人×月)        | 200 | 〇〇委託分析料    | 500 |
| 30 |                          | 0   |                     | 0   | 実験補助<br>(人×月)        | 200 | ホームページ作成費用 | 150 |
| 30 | 計                        | 180 | 計                   | 250 | 計                    | 400 | 計          | 650 |
| 31 | 研究の打合せ<br>東北大学 仙台2泊3日×3回 | 150 |                     | 0   | アンケートの配布・回収<br>(人×月) | 100 | 通信費        | 50  |
| 31 |                          | 0   |                     | 0   |                      | 0   | レンタル費用     | 100 |
|    | 計                        | 150 | 計                   | 0   | 計                    | 100 | 計          | 150 |
| 32 | 研究の成果発表<br>大阪2泊3日×1回     | 70  |                     | 0   | データ入力<br>(人×月)       | 200 | 会議費        | 100 |
| 32 | 研究の成果発表<br>東京3泊4日×1回     | 65  |                     | 0   |                      | 0   | 学会誌投稿料     | 100 |

**国内旅費・外国旅費**  
研究代表者、研究分担者、連携研究者及び研究協力者の海外・国内出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等を、その**事項毎**に入力してください。

**人件費・謝金**  
資料整理、実験補助、翻訳・校閲（会社ではなく個人に依頼する場合）、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者（ポストドクター・リサーチアシスタント（RA）・外国の機関に所属する研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等を、その**事項毎**に入力してください。  
例：資料整理（内訳：人×月）・千円

**その他**  
設備備品費、消耗品費、旅費、人件費・謝金のほか当該研究を遂行するための経費等を、その**事項毎**に入力してください。  
例：印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用、翻訳・校閲費（専門会社に依頼する時）等）、実験廃棄物処理費

研究経費と使用内訳は、各経費の明細の入力内容から自動で計算されます。  
各経費の明細欄は、入力画面左側の「追加」ボタンを必要数押すことでデータ入力欄が表示されます。  
使用しないデータ入力欄（入力したが使用しない場合や全く入力しなかった場合）については、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除してください。  
（エラーが出る場合は、不要なデータ入力欄を削除してください。）  
金額は千円単位で入力し、千円未満の端数は切り捨ててください。  
各経費の明細の入力がすべて完了したら、再計算ボタンをクリックしてください。

〇計の欄は自動集計のため、入力不要です。  
〇具体的な記入例がないため、実際の調書とは若干異なる場合がありますのでご了承ください。

**旅費、人件費・謝金、その他の必要性**

旅費、人件費・謝金、その他の必要性  
入力した**旅費、人件費・謝金及びその他の必要性・積算根拠**について入力してください。本研究の**いずれかの年度において、「旅費」又は「人件費・謝金」のいずれかの費目が全体の研究経費の90%を超える場合及び「その他」で特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の研究遂行上の必要性**についても入力しなければなりません。

研究費の応募・受入等の状況  
(1) 応募中の研究費

| 研究者氏名                                 | 自動入力されます              |    |                      |           |   |
|---------------------------------------|-----------------------|----|----------------------|-----------|---|
| 資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)               | 研究課題名 (研究代表者氏名)       | 役割 | 平成30年度の研究経費 (期間全体の額) | エフォート (%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額)        |
| 【本応募研究課題】<br>基盤研究(C)(一般)<br>H30 - H32 | 〇〇を××する〇の解明について       | 代表 | 1,000                | 30        |   |
|                                       | 自動入力されます              |    | 3,000 (千円)           |           | 研究期間全体で自ら使用する総額 (予定額) を下段に入力してください。<br>研究分担者がいる場合は、総額と金額が異なります。     |
| 基盤研究(C)(一般)<br>H30 - H32              | 〇〇現象の〇〇モデルによる〇の解明 ( ) | 分担 | 150                  | 5         | 本応募課題と同じく、〇〇を対象とした研究であるが、こちらは〇〇をモデルとして使用し、〇についてを解明する研究でxxxという点で異なる。 |
|                                       |                       |    | 450 (千円)             |           | 自動入力されます<br>総額 5,000千円  |

「役割」  
当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」、研究分担者等の場合は「分担」を選択してください。

「資金制度・研究費名 (配分機関名)」  
科研費の場合には研究種目を選択してください。科研費以外の場合は「その他」を選択し、下段に研究費の名称と配分機関名を入力してください。  
学内助成事業についても記載が必要です。その際、配分機関名は「弘前大学」となります。

「研究期間」  
研究期間を入力してください。

「研究代表者氏名」  
役割欄で「分担」を選択した場合、当該研究課題の研究代表者 (もしくはそれに相当する者) の氏名を入力してください。

「平成30年度研究経費 (期間全体額) (千円)」  
平成30年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額 (応募中のものは応募額) を上段に入力し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額 (予定額) を下段に入力してください。  
役割欄で「分担」を選択した場合、平成30年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額 (予定額) を上段に入力し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の総額 (予定額) を下段に入力してください (分担金が配分されない場合は、それぞれ「0」を入力してください)。

「平成30年度エフォート (%)」  
本欄に入力する、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」及び「(3) その他の活動」に係る全仕事時間を100%として、そのうち「(1) 応募中の研究費」及び「(2) 受入予定の研究費」の研究活動等の実施に必要となる時間の配分率 (%) を入力してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。  
科研費において、重複応募は可能であっても、重複して採択されることがない研究種目 (特別推進研究等) を入力する場合は、「-」(ハイフン) と入力してください。  
また、競争的資金制度により研究を行う場合には、当該研究活動に係るエフォートを必ず入力してください。本応募研究課題が採択された際には、改めてその時点におけるエフォートを確認し、エフォートに変更がある場合には、e-Rad 上で修正した上で交付申請手続きを行うこととなります。

「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」  
応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞って明確に入力してください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に入力してください。

(千円)

(2) 受入予定の研究費

| 資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)        | 研究課題名 (研究代表者氏名)      | 役割 | 平成30年度の研究経費 (期間全体の額)   | エフォート (%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額)     |
|--------------------------------|----------------------|----|------------------------|-----------|--|
| 学内助成事業・弘前大学若手機関研究 H29~H31 弘前大学 | 〇〇の に関する〇〇研究 (〇〇 〇〇) | 分担 | 1,000<br><br>3,000(千円) | 20        | 〇〇のxx分析方法を用いる点では共通しているが、当該研究は の が〇であることを明らかにする研究である点で全く異なる研究である。 |

「役割」  
 当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」、研究分担者等の場合は「分担」を選択してください。

「資金制度・研究費名 (配分機関名)」  
 科研費の場合には研究種目を選択してください。科研費以外の場合は「その他」を選択し、下段に研究費の名称と配分機関名を入力してください。

「研究期間」  
 研究期間を入力してください。

「研究代表者氏名」  
 役割欄で「分担」を選択した場合、当該研究課題の研究代表者 (もしくはそれに相当する者) の氏名を入力してください。

「平成30年度研究経費 (期間全体額) (千円)」  
 平成30年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額を上段に入力し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額 (予定額) を下段に入力してください。  
 役割欄で「分担」を選択した場合、平成30年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額 (予定額) を上段に入力し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の総額 (予定額) を下段に入力してください (分担金が配分されない場合は、それぞれ「0」を入力してください)。

「平成30年度エフォート (%)」  
 本欄に入力する、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」及び「(3) その他の活動」に係る全仕事を100%として、そのうち「(1) 応募中の研究費」及び「(2) 受入予定の研究費」の研究活動等の実施に必要な時間の配分率 (%) を入力してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。  
 科研費において、重複応募は可能であっても、重複して採択されることがない研究種目 (特別推進研究等) を入力する場合は、「-」 (ハイフン) と入力してください。  
 また、競争的資金制度により研究を行う場合には、当該研究活動に係るエフォートを必ず入力してください。本応募研究課題が採択された際には、改めてその時点におけるエフォートを確認し、エフォートに変更がある場合には、e-Rad 上で修正した上で交付申請手続きを行うこととなります。

「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」  
 応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞って明確に入力してください。  
 なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に入力してください。

自動入力されます。

|            |  |  |  |         |  |
|------------|--|--|--|---------|--|
| (3) その他の活動 |  |  |  |         |  |
| 合計         |  |  |  | 100 (%) |  |